

こぶしだより

1995年12月26日(火)

発行 第187号

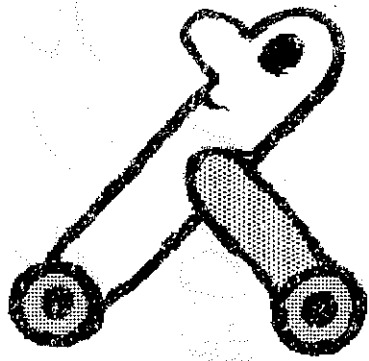
こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

☎0286(62)1911

「障害者の日」 記念のつどい

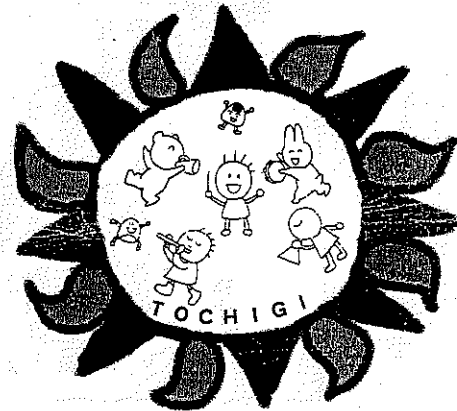
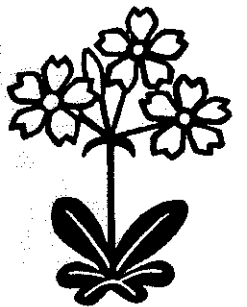
12月9日は「障害者の日」みなさんご存知でしたか？「75年「障害者の権利宣言」が国連で採択された記念すべき日です。日本の障害者団体のほとんどを組織する日本障害者協議会(JD)が、国民の休日にして欲しいと運動を強めています。



12月9日 障害者の日を国民の休日に

内容はもとより、その意義や思いなどを話し合い準備をすすめてきました。障害者のねがい、主張を伝えつつ障害者だけが目立つのでなく、健常者との区別なくみんなが楽しめるものを企画し、当日は宇都宮市総合コミュニティセンター大集會室にて100名近い参加者で盛り上がりました。今回は初めての試みということで、できるところからやることにし、毎年続けていくことにしました。プログラムは、アピール発表、テーマソングを歌ったりアトラクション、ピアノとピアノの演奏。また会場には紙でできた大きなクリスマスツリーを用意し星に障害者の願いをかいて飾りました。会場の広さや時間的なもので、参加者が共作連加盟の作業所中心となってしまいました。が、これから1年々々多く

ツリーを用意し星に障害者の願いをかいて飾りました。会場の広さや時間的なもので、参加者が共作連加盟の作業所中心となってしまいました。が、これから1年々々多く



のあらゆる障害者や人々の企画し意義深い一日となれるようにしたいものです。当日、コミュニティセンターにたまたま来て何をやっているのか足を運んでくれた人がいました。感想に「元気に歌う姿を見て、生き生きと頑張っていることに励まされた」とありました。企画した一人としてとても嬉しく、また同じ人間なのだから変に比較するのではなくお互い励ましあいながら生きて行けたらと思います。

(金田)

ミュージカルに

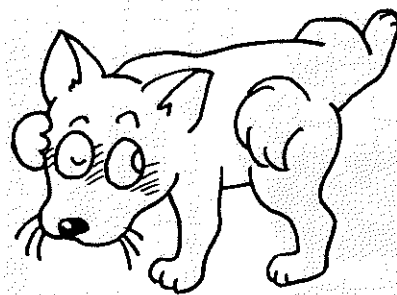
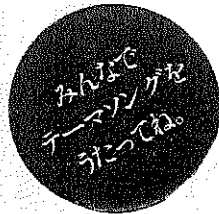
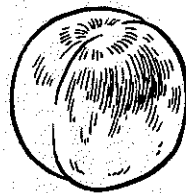
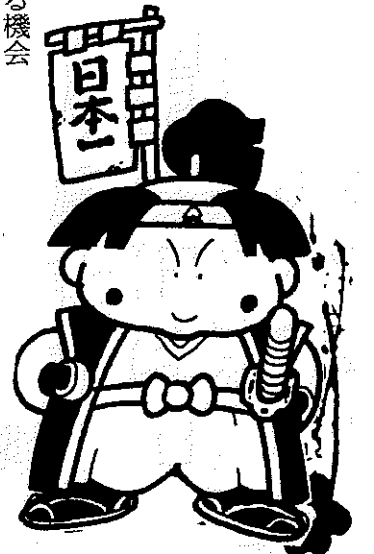
感動する

去る11月21日(月)、日産労連より招待を受け、劇団四季ミュージカル『桃次郎の冒険』を観劇してきました。日産労連では、昭和51年から組合員ひとりひとりが毎月200円ずつ出し合って「福祉基金」をつくり、広く社会の福祉に役立つ活動を展開しています。クリスマスチャリティ公演も、こどもたちに夢や希望——心の豊かさをプレゼントしたい、とその一環として行なっているそうで、今年「福祉基金」創設20周年を迎えたとのことでした。

日頃、生の舞台をみる機会が少ない仲間たちにとって、歌と踊りの華やかなステージは素敵なクリスマスプレゼントになったようです。おなじみ桃太郎の弟の話とあって、一緒に歌ったり踊ったり、皆体いっぱい楽しんでいました。中でもテーマソング『すももももも』は皆気に入ったようで、あの歌覚えたいなあ、などという声もあり、翌日から作業所内で度々耳にするようになりました。

すっかり日も暮れてしまいましたが、帰りにはドラえもんの中着袋をお土産にもらい一同大満足で帰宅しました。

(桜庭)



● すももももも ●

Musical notation for the song 'すももももも' (Sumomomomomo). It includes a treble clef, a key signature of one flat (F major/D minor), and a 4/4 time signature. The melody is written on a staff with lyrics underneath: すももももももも、うまくなる、すももももももも、仲間だよ、風がざわざわ吹いたらば、すもももももも、うまくなる、すももももももも、仲間だよ、風がざわざわ吹いたらば、すもももももも、うまくなる。

● 『桃次郎の冒険』テーマソング

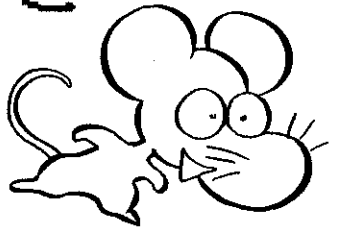
すもももももも

●作詞 四季文芸部 ●作曲 いずみたく

すもももももももものうち
すもももももも 仲間だよ
風がざわざわ吹いたらば
すもももももも うまくなる
すもももももも もものうち
すもももももも 仲間だよ
風がざわざわ吹いたらば
きみらもぼくらも手をつなぐ
すもももももも もものうち
すもももももも 仲間だよ
風がざわざわ吹いたらば
すもももももも うまくなる

カルフル

とちぎ



会場には即売会の他、作品展や生花・お茶席が設けられていたり、福祉機器展・カラオケ大会等々様々な催物がありました。時間がなくゆつくり見て歩くことができませんでしたが、文化祭の準備も短期間での初めてのとりくみという事で、様々な困難の中での開催で、何より一般の参加者が少なかつたというのが残念な事でした。来年も又開催する予定のようですが、宣伝や主旨などを広げ開催したいものです。

去る12月14(木)15(金)の両日、栃木県総合文化センターを会場に、栃木県障害者文化祭カルフルとちぎが開催されました。これは障害者の文化を交流すると同時に一般市民の障害者への理解を深めてもらう場として、県・育成会・愛護・養護学校等が一緒に進めてきたものです。けやき・こぶし両作業所は、主に15日に即売会とメインホールでの合唱発表と出演しました。(14日の開会式・記念講演には代表が参加)特に合唱「たんぽぽ」と「そんな町を」



(鈴木)

お忙しい中応援下さったあじさいコーラス・すみれコーラスの皆さん、そして会場迄足を運んで下さったご家族のみなさん、ありがとうございました。

トピックス

△けやき編▽

アルミ缶回収でお世話になっていた芳賀町温泉センターさんに、招待されました。とても人気の温泉で「行ってみたいな」と思っていた仲間や職員は大喜びです。当日はお食事つきで、ナント手品まで観られるらしい。この報告は来月号を見てね。
(塩入)

△こぶし編▽



県内の施設が集まる行事に参加すると懐かしい顔に出会います。先日の栃木県障害者文化祭(カルフルとちぎ95)でも二人の仲間が久し振りで会うことが出来ました。一人は10数年前に措置変更になった石和由朗さん。声をかけるとしばらく顔を眺めた後、思い出したように現在の様子等こぶしの頃の話してくれました。こぶしの頃の話もよみがえってくる、その後

古い仲間や職員に会う度両手で相手の手をしっかりと握りしめて話をしていました。もう一人は、夏休み学級に参加していた斉藤久展くん。相変わらず人なつっこい笑顔で、知っている顔を見つけたら近づいてきていました。そして現在入所している施設の職員にはつきりしない言葉ながらも我々を紹介しようとしていました。そんな関わりを持てたことでちよつびり心があつたかくなつたひとときでした。
(荒井)

みんなで大地

こぶしでは作業所発足以来朝の散歩が続いている。その訳はいろいろとあるのだろう。一日座って作業をするため、歩くことが精神的にも身体的にも健康によいということや脳性麻痺の仲間にとつてはリハビリの一つと考えられること。癲癇の仲間は体力をつけることが発作に打ち勝つ力にもなる。その他にも職員一人ひとりが仲間一人ひとりに課題を持って朝の散歩を取り組んでいるかもしれない。15年間柳田で、祖母井(うばが)で営まれている朝の風景である。この頃私は歳甲斐もなく散歩のトップグループに加わっている。3、4人ほどのグループだが自閉的傾向を持つM君がいつも先頭を切っている。そこに私が割り込み先頭争いを毎日やる。彼は近道をしたりして1位を死守する。



昨日、本当の「豊かさとはなにか」という話題がクロージアアップされている。バブル崩壊後の日本人の在り様をみるようで面白い。そんな視点で見るとこぶしの朝の散歩もなかなか世間に一石を投じている。

ものがあるのではないだろうかとも思うのである。こぶしの散歩が人と人の、人と自然の楽しいふれあひから離れ訓練とかリハビリ・教育などだけが強調されるものだったら本当に殺伐としたものになつていのではないか。(本当のりハビリや教育はそんなものではないのだが。)願わくば、こぶしの朝の散歩がいつまでも仲間たちの楽しい日課でいてほしいし、この18日に政府決定された「障害者プラン(ノーマライゼーションプラン7ヶ年戦略)」も障害をもった仲間たちが生まれてきて本当に良かったと思える計画として具体化してほしい。



1月のこよみ

1	(月)	冬	休	み
4	(木)			
5	(金)	仕	事	初
6	(土)	指	導	会
7	(日)	休		議
13	(土)	休		日
14	(日)	休		日
15	(月)	休		日
20	(土)	職	員	議
21	(日)	休		日
27	(土)	休		日
28	(日)	日	曜	作